

福島県立医科大学における男女共同参画推進に向けての取組

[はじめに]

福島県立医科大学では、平成23年度女性研究者研究活動支援事業に採択されて以降、事業拠点としてキャリア・ラボを新設し、平成23～25年の3年間、ライフイベント中の女性研究者を支援する女性研究者研究活動支援事業を実施して参りました。

[平成23～25年度までの活動]

○ 研究者の支援

ライフイベント中の研究者に研究支援員を配置しました。被支援者の選定の際には、支援の必要度を計るために「スコア制」を取り入れ、客観的かつ透明性のある基準で選定しました。

○ 研究リーダー育成のためのメンター、アドバイザー制度の確立

予約制により登録相談員が研究に特化した相談を受ける「リサーチ・コンサルト」を毎月固定日のほか相談者の望むタイミングで相談できるように随時開催も行うなど、相談者の多様な相談内容にアドバイスできる体制を整えました。

また、研究者間の交流の場として毎月1回「FMYou カフェ」を開催し、談話の中で簡易な相談も受け付けました。

○ 男女共同参画の意識醸成

男女共同参画に関する意識啓発を図るため、役員及び教職員を対象とした講演会やシンポジウムを開催しました（平成23年度1回、平成24年度2回、平成25年度は5回）。

また、女性研究者研究活動支援事業を学内外へ発信するためホームページによる情報発信のほか、「レターfrom CL」を年4回発行し全学的な意識改革に取り組みました。

○ その他

主に女性研究者を対象とした研究技能向上のための講習会（スキル・アップセミナー）を平成24～25年度に計6回開催しました。

[実施期間終了後の体制及び取組]

平成25年度まで、育児や介護等のライフイベントをはじめ、就業継続、復職等の支援を行う「女性医師支援センター」と研究支援を行う本事業の「キャリア・ラボ」を車の両輪として、女性医師を支援してきました。

補助事業終了後の平成26年度は、女性医師支援センター及びキャリア・ラボの機能も統合し、これまでの成果を継承するとともに、医学部の女性研究者に限った支援から全学（看護学部、会津医療センター、事務局）に対象を拡大することとし、「男女共同参画推進本部」を立ち上げ、積極的に本学の男女共同参画を推進することとしました。

男女共同参画推進本部では、6月に「基本理念」及び「基本方針」を定め、本学の男女共同参画の方向性を明確にするとともに、具体的な数値目標を掲げた今後3年間の「行動計画」の策定に現在取り組んでいるところです。

【連絡先】 福島県立医科大学 男女共同参画室

TEL : 024-547-1657 (直通)

E-Mail : gendeqsp@fmu.ac.jp

URL : <http://gender-fmu.jp/>



男女共同参画推進に向けての取組

平成23-25年度までの取組

- 研究補助員による研究支援(研究実験補助員/リサーチ・アシスタント)
- 次世代研究者の育成(FMYouカフェ/スキル・アップセミナーの開催)
- メンター・アドバイザー制度の確立(キャリア・アップセミナーの開催/リサーチ・コンサルトの開催)
- 男女共同参画の意識醸成(講演会/シンポジウムの開催)
- その他(成果報告会の開催/外部評価委員会)

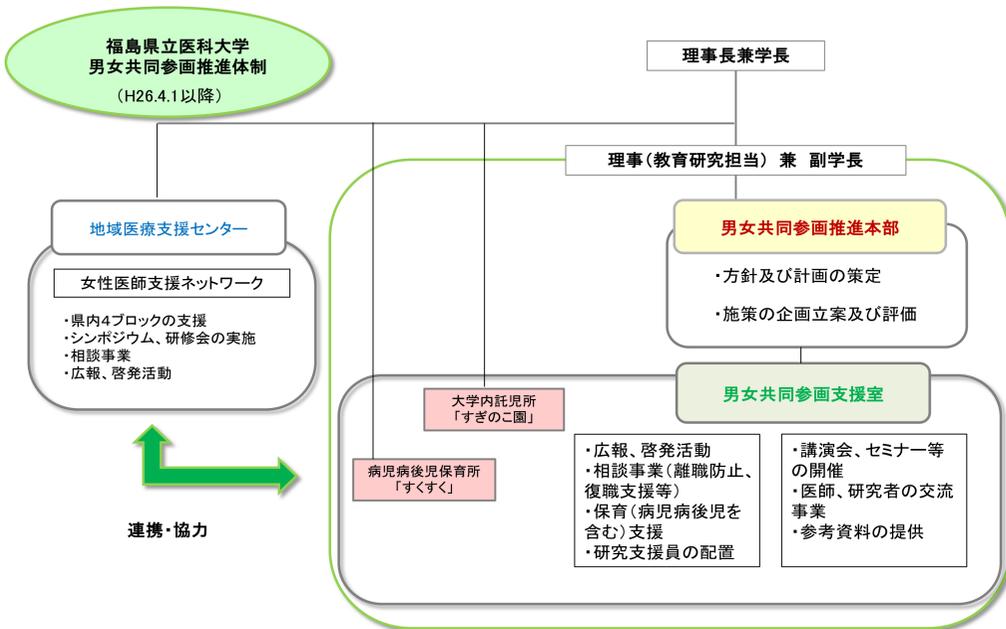
研究推進戦略室キャリア・ラボ

連携

- 就業支援(休暇・休業制度の充実)
- 育児支援(昼間保育・夜間保育・一時保育の充実・病児病後児保育・ベビーシッター等)
- 復職支援(スキル・ラボ、短期研修、再就業のための臨床研修)
- 個別相談支援(個人ケアマネジメント、最適相談者の照会)
- 講演会・シンポジウムの開催

女性医師支援センター

平成26年度以降の実施体制



男女共同参画の推進に係る基本理念・基本方針

基本理念

福島県立医科大学は、男女共同参画を積極的に推進し、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、かつ、仕事と生活の調和を実現することを目指します。

基本方針

目的の達成に向けて、本学の基本方針を次のとおり定める。

- 教職員男女機会均等の実現及び格差の是正
- 教育・研究及び就業と生活との調和を図るための環境の整備
- 男女共同参画の意識改革の促進
- 男女共同参画のための教育の充実
- 男女共同参画に関する取組における地域社会との連携
- 男女共同参画の視点に立った人材育成

平成26年度の主な取組

医学部女性教員在職者比率の向上

○本学では、平成25年度末時点で17.3%だった医学部女性教員在職比率を、平成26年度末時点で18.6%にすることを目標として掲げ、様々な取組を行いながらその格差是正に努めています。



病児病後児保育所「すくすく」

育児及び介護支援

- 大学託児所「すぎのこ園」を開設し、昼間保育・夜間保育及び一時保育を行っています。
- 病児病後児保育所「すくすく」の開設
- 育児サポーター事業(ベビーシッター)を実施しています。

個別相談支援

○育児・産休・職場復帰や研究に関する相談など、個々に応じた相談を随時受け付けています。必要に応じて関連部署と連携し、対応する体制を整えています。



FMUカフェ

研究の支援

○ライフイベント(出産・育児・介護等)を抱えた研究者の研究支援を行い、研究継続を支援しています。平成26年度は上半期・下半期を通じて、延べ9名の医学部教員に研究支援員を配置しました。

男女共同参画の意識改革の促進

○講演会を実施するなどし、全学的な男女共同参画の意識醸成を図ります。
○10月3日、前国務大臣の森まさこ氏を講師とし「男女共同参画講演会」を開催し、「女性が輝く社会と復興」についてお話いただきました。



男女共同参画講演会

交流の場の設定

- FMUカフェの開催: 月1回、男女共同参画をテーマとして英語でディスカッションをしています。
- FMUキャリアサポート交流会の開催: 年2回学生とロールモデルの交流の場として交流会を開催しています。

男女共同参画に係る教育の充実

○医学部学生(1年生・3年生)を対象として、男女共同参画に係る授業を行っています。



第2回スキルアップセミナー

セミナーの開催

- FMUスキルアップセミナー(目的: 研究技能の向上)の開催
- FMUキャリアアップセミナー(目的: キャリア形成)の開催

平成26年度以降

支援対象を全学(医学部・看護学部・会津医療センター及び事務局)に拡大し、男女共同参画の一層の推進と拡充を目指します